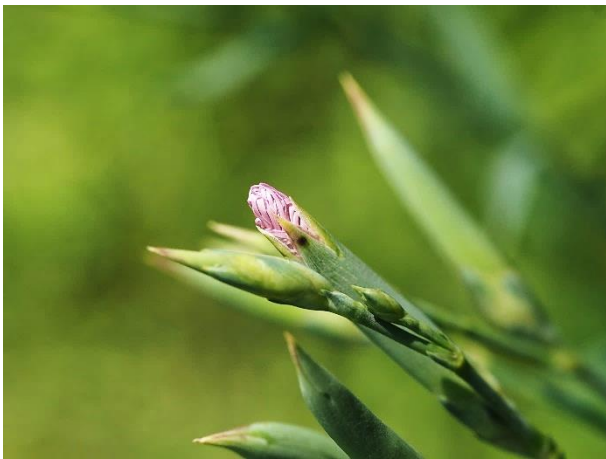


2017/7/28

神代植物公園

植物多様性センターの「カワラナデシコ」

キキョウとならび古くから日本人に愛された植物カワラナデシコ。別名ヤマトナデシコ、日本人女性の清楚な美しさの代名詞ともなっていますが、意外な側面を持っています。花卉が綺麗なピンク色の糸状に細裂した花ですが、よく見ると両性花と雌花の2種類が存在します。しかも同じ株には一方のみ。雌性両全性異株と呼ばれるタイプで、他にはオケラもこれに当たります。更にこの両性花は、キキョウと同じ雄性先熟で自家受粉を避けています。時間が立つと雌花ばかりが咲いているように感じます。



開花直前の蕾
糸状の花びらが見える



雌花
開花直後から雌蕊が見える



雄花期の両性花
雄蕊しか見えない



雌花期の両性花
雄蕊が後退、雌蕊が前面に